



平成24年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場取引所 東 大

上場会社名 株式会社 船井総合研究所

コード番号 9757 URL <http://www.funaisoken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高嶋 栄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
スタッフ統括本部長

(氏名) 大野 潔

TEL 06-6232-0130

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日

平成24年9月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第2四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第2四半期	4,265	8.0	1,139	43.1	1,102	39.3	666	123.8
23年12月期第2四半期	3,949	△5.7	796	△13.3	791	△14.2	298	156.9

(注) 包括利益 24年12月期第2四半期 700百万円 (174.7%) 23年12月期第2四半期 254百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第2四半期	23.71	23.70
23年12月期第2四半期	10.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
24年12月期第2四半期	16,846		14,080		83.4
23年12月期	16,549		13,770		83.1

(参考) 自己資本 24年12月期第2四半期 14,052百万円 23年12月期 13,745百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	10.00	—	14.00	24.00
24年12月期	—	10.00	—	—	—
24年12月期(予想)	—	—	—	15.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600	0.4	1,950	2.6	1,950	2.3	1,000	△16.5	35.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年12月期2Q	31,251,477 株	23年12月期	31,251,477 株
-----------	--------------	---------	--------------

② 期末自己株式数

24年12月期2Q	3,117,995 株	23年12月期	3,117,908 株
-----------	-------------	---------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年12月期2Q	28,133,567 株	23年12月期2Q	28,133,829 株
-----------	--------------	-----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.4「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○目 次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
4. 補足情報	14
(1) 受注及び販売の状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、依然として厳しい状況にあるものの、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつあります。しかしながら、デフレの影響、雇用情勢の悪化に加え、欧州の政府債務危機など金融不安の深刻化が懸念されるなど、まだまだ予断を許さない状況にあります。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、主力の経営コンサルティング事業の業績向上により、連結経営成績は前年同四半期と比較し増収増益を達成することができました。

①売上高・・・4,265百万円（前年同四半期比8.0%増）

経営コンサルティング事業におきまして、業種・テーマごとに開催している経営研究会の充実、時流に適応したビジネスソリューションの提案、コミュニケーションセンター設立による顧客との関係構築強化などにより、売上高は前年度からの好調を維持し、前年同四半期と比較し受注件数が大きく増加いたしました。その結果、書籍出版事業の撤退に伴う減収額をカバーすることができ、売上高は前年同四半期に比べて8.0%増の4,265百万円となりました。

②営業利益・・・1,139百万円（前年同四半期比43.1%増）

上記の売上増加の要因のほかに、前年から引続き営業活動の効率化及び固定費の削減に取り組んだことにより、営業利益率が26.7%（前年同四半期は20.2%）となり大幅に改善されました。その結果、営業利益は前年同四半期に比べて43.1%増の1,139百万円となりました。

③経常利益・・・1,102百万円（前年同四半期比39.3%増）

営業外収益が30百万円、営業外費用が67百万円となり、経常利益は前年同四半期に比べて39.3%増の1,102百万円となりました。

④四半期純利益・・・666百万円（前年同四半期比123.8%増）

特別利益が5百万円、特別損失が0百万円、法人税等合計が441百万円、少数株主損失が0百万円となり、四半期純利益は前年同四半期に比べて123.8%増の666百万円となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

①経営コンサルティング事業

経営コンサルティング事業におきましては、前年同四半期を大きく上回る実績を確保いたしました。

主力の住宅・不動産業界、レジャー・アミューズメント業界向けコンサルティングにおきましては順調に業績を伸ばし、特に住宅・不動産業界におきましては、最盛期を上回る勢いで推移しております。その他、ほぼ全てのコンサルティング分野においても前年同四半期を上回り好調を維持しております。

また業務区分別に見ると、当社の強みである支援型コンサルティング業務におきましては、以前より安定成長を続けておりますが、さらに景気動向の影響を受けやすいプロジェクト型コンサルティング業務においても、当期は受注が回復し、この2つの業務が好循環で推移しているのが当期の傾向であります。

その結果、売上高は4,168百万円（前年同四半期比12.5%増）、営業利益は1,136百万円（同37.8%増）となり増収増益を達成いたしました。

②ベンチャーキャピタル事業

ベンチャーキャピタル事業におきましては、新規上場市場の停滞及び先行き不透明な経済状況により依然として厳しい環境が続いており、現在は新規投資を控えている状況であります。

その結果、売上高を確保することができず、営業損失は12百万円（前年同四半期は営業損失30百万円）となりました。

③その他

その他の事業におきましては、IT関連業務においてマネジメントコンサルティング、ITアウトソーシングは当初計画どおり進捗いたしました。ITコンサルティングにおいて、プロジェクト型案件が当初の計画より遅れたことにより、業績は低調に推移いたしました。

その結果、売上高は97百万円（前年同四半期比0.2%減）、営業利益は13百万円（同11.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて296百万円増加し、16,846百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて357百万円減少し、6,516百万円となりました。これは主に、現金及び預金が増加し、有価証券、流動資産のその他に含まれる短期貸付金が減少したことによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて654百万円増加し、10,330百万円となりました。これは主に、投資有価証券が増加したことによるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて13百万円減少し、2,765百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて46百万円増加し、1,805百万円となりました。これは主に1年以内返済予定の長期借入金、流動負債のその他に含まれる未払金が増加し、未払法人税等が減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて59百万円減少し、959百万円となりました。これは主に長期借入金が増加したことによるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて310百万円増加し、14,080百万円となりました。

(自己資本比率)

当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末に比べて0.3ポイント増加し、83.4%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて101百万円減少し、4,255百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は719百万円（前年同四半期は1,042百万円の資金の獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が1,107百万円となり、減価償却費が108百万円、売上債権の減少額が96百万円であること、また、法人税等の支払額が613百万円となったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は419百万円（前年同四半期は375百万円の資金の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出が200百万円、有価証券及び投資有価証券の取得及び売却による差引支出が182百万円となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は401百万円（前年同四半期は350百万円の資金の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額が391百万円となったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

国内経済の先行きについては、復興需要等を背景に景気回復が期待されるものの、欧州政府債務危機を巡る不確実性が高まっており、その先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況のなか、当社グループにおきましては、引続き顧客基盤の充実を図るとともに、時代の流れに適応したビジネスの創出に努めてまいりたいと考えております。

経営コンサルティング事業におきましては、主力の住宅・不動産業界、レジャー・アミューズメント業界向けコンサルティングを中心に、好調な各業種別コンサルティングにさらに注力してまいります。また景気の先行きが依然として不透明ななか、新しいビジネスモデルを提言することは当社の使命であると考えております。各業種別に積極的なセミナー開催を展開することで、広く各企業の経営の活性化に寄与してまいります。

顧客対応におきましては、当社の経営相談の窓口であるコミュニケーションセンターの充実に伴い、問い合わせ件数が増加傾向にあります。今後もスピーディーかつお客様の視点に立った対応を目指すことで、質の高いコンサルティングサービスを提供してまいります。

さらに当社では、現在のソーシャルメディアに対応した新たな会員サービスづくりとして、8月にWEBサイトの全面リニューアルを行い、セミナーコンテンツを最大限に活用したデジタルコンテンツ事業の展開をスタートいたします。WEB上で当社のセミナーコンテンツを広く公開することで、視聴機会を増やし、セミナー関連商品販売の強化やコンサルティング受注の増加を目指してまいります。

なお、通期の連結業績予想につきましては、売上高8,600百万円、営業利益1,950百万円、経常利益1,950百万円、当期純利益1,000百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

（追加情報）

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,257,503	3,965,603
受取手形及び売掛金	1,013,750	917,284
有価証券	1,207,151	1,095,337
営業投資有価証券	67,157	63,467
仕掛品	67,852	112,059
原材料及び貯蔵品	6,211	4,516
その他	1,327,446	420,648
貸倒引当金	△73,024	△62,515
流動資産合計	6,874,048	6,516,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,647,143	1,614,931
土地	4,878,640	4,878,640
リース資産(純額)	48,984	40,611
その他(純額)	45,490	41,989
有形固定資産合計	6,620,258	6,576,172
無形固定資産		
借地権	322,400	322,400
ソフトウェア	141,316	115,843
その他	8,938	20,220
無形固定資産合計	472,655	458,464
投資その他の資産		
投資有価証券	1,081,714	1,705,532
その他	1,755,824	1,739,175
貸倒引当金	△254,774	△149,274
投資その他の資産合計	2,582,764	3,295,433
固定資産合計	9,675,679	10,330,070
資産合計	16,549,727	16,846,473

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,855	8,851
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	—	100,000
リース債務	17,582	17,582
未払法人税等	588,594	262,502
賞与引当金	132	6,377
その他	1,044,356	1,310,301
流動負債合計	1,759,521	1,805,615
固定負債		
社債	500,000	500,000
長期借入金	100,000	—
リース債務	35,141	26,349
退職給付引当金	2,932	3,286
その他	381,422	430,329
固定負債合計	1,019,495	959,965
負債合計	2,779,016	2,765,581
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,125,231	3,125,231
資本剰余金	2,946,634	2,946,634
利益剰余金	9,405,422	9,678,460
自己株式	△1,709,907	△1,709,953
株主資本合計	13,767,381	14,040,373
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22,073	11,334
為替換算調整勘定	—	545
その他の包括利益累計額合計	△22,073	11,879
新株予約権	—	3,774
少数株主持分	25,402	24,864
純資産合計	13,770,710	14,080,892
負債純資産合計	16,549,727	16,846,473

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業収益	3,949,385	4,265,443
営業原価	2,524,281	2,600,448
営業総利益	1,425,104	1,664,995
販売費及び一般管理費	628,286	525,009
営業利益	796,818	1,139,986
営業外収益		
受取利息	4,158	4,465
受取配当金	4,194	12,011
その他	11,135	13,551
営業外収益合計	19,488	30,028
営業外費用		
支払利息	6,633	5,226
貸倒引当金繰入額	—	55,000
投資事業組合管理費	2,333	2,322
寄付金	10,000	—
和解金	2,500	—
為替差損	154	1,152
その他	2,964	3,521
営業外費用合計	24,585	67,223
経常利益	791,721	1,102,791
特別利益		
固定資産売却益	11,546	—
投資有価証券売却益	—	960
貸倒引当金戻入額	9,053	—
未払費用戻入額	—	4,164
特別利益合計	20,600	5,125
特別損失		
固定資産売却損	—	180
固定資産除却損	442	68
投資有価証券評価損	2,799	—
事業撤退損	313,722	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,047	—
特別損失合計	338,013	248
税金等調整前四半期純利益	474,308	1,107,668
法人税、住民税及び事業税	160,890	280,114
法人税等調整額	21,224	161,165
法人税等合計	182,114	441,279
少数株主損益調整前四半期純利益	292,193	666,388
少数株主損失(△)	△5,853	△518
四半期純利益	298,046	666,907

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	292,193	666,388
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△37,213	33,407
為替換算調整勘定	—	545
その他の包括利益合計	△37,213	33,953
四半期包括利益	254,979	700,342
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260,832	700,861
少数株主に係る四半期包括利益	△5,853	△518

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	474,308	1,107,668
減価償却費	115,143	108,033
株式報酬費用	—	3,774
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△95,058	△116,009
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△6,367	354
前払年金費用の増減額 (△は増加)	24,643	31,901
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,485	6,252
投資有価証券評価損益 (△は益)	3,174	106
投資有価証券売却損益 (△は益)	△628	△250
営業投資有価証券評価損益 (△は益)	7,248	△328
受取利息及び受取配当金	△8,353	△16,476
支払利息	6,633	5,226
為替差損益 (△は益)	—	585
有形固定資産売却損益 (△は益)	△12,118	60
有形固定資産除却損	433	68
事業撤退損失	297,938	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,047	—
売上債権の増減額 (△は増加)	254,207	96,465
その他の資産の増減額 (△は増加)	33,946	113,279
その他の負債の増減額 (△は減少)	△124,150	△41,587
その他	△20,265	1,254
小計	974,269	1,300,377
利息及び配当金の受取額	13,994	25,591
利息の支払額	△7,490	△5,212
法人税等の支払額	△131,891	△613,034
法人税等の還付額	193,576	11,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,042,458	719,195
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△150,000	△200,000
有価証券の取得による支出	△303,430	△99,925
有価証券の売却による収入	200,000	800,000
投資有価証券の取得による支出	△236,950	△1,103,236
投資有価証券の売却による収入	200,000	220,946
有形固定資産の取得による支出	△6,936	△31,684
有形固定資産の売却による収入	19,350	50
無形固定資産の取得による支出	△3,263	△17,380
長期貸付けによる支出	△50,000	△5,000
長期貸付金の回収による収入	—	16,500
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△44,637	—
その他	—	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△375,867	△419,739

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△7,587	△8,791
自己株式の取得による支出	△85	△46
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△335,901	△391,760
少数株主への払戻による支出	△11,393	—
その他	4,394	△500
財務活動によるキャッシュ・フロー	△350,573	△401,098
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△28
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	316,017	△101,671
現金及び現金同等物の期首残高	3,171,354	4,357,245
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,487,372	4,255,574

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年1月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	経営コンサル ティング 事業	書籍出版 事業 (注) 1	ベンチャー キャピタル 事業	その他 (注) 2	計	調整額 (注) 3	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 4
売上高							
外部顧客への 売上高	3,706,281	118,817	26,807	97,479	3,949,385	—	3,949,385
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	—	—	—	5,575	5,575	△5,575	—
計	3,706,281	118,817	26,807	103,054	3,954,960	△5,575	3,949,385
セグメント利益 又は損失(△)	824,787	△16,559	△30,086	14,844	792,986	3,832	796,818

(注) 1 書籍出版事業を営む株式会社ビジネス社の全株式を平成23年6月30日に売却したため、連結の範囲から除外いたしました。

2 その他には、不動産賃貸収入、IT関連業務による収入等が含まれております。

3 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

4 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年1月1日 至 平成24年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	経営コンサル ティング 事業	ベンチャー キャピタル 事業	その他 (注) 1	計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
売上高						
外部顧客への 売上高	4,168,153	—	97,289	4,265,443	—	4,265,443
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	160	—	2,400	2,560	△2,560	—
計	4,168,313	—	99,689	4,268,003	△2,560	4,265,443
セグメント利益 又は損失(△)	1,136,723	△12,874	13,201	1,137,050	2,935	1,139,986

(注) 1 その他には、不動産賃貸収入、IT関連業務による収入等が含まれております。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結累計期間より報告セグメントとして記載する事業セグメント「書籍出版事業」を廃止しております。

これは、書籍出版事業を営む株式会社ビジネス社の全株式を平成23年6月30日に売却し、当事業から撤退したことによるものであります。

これにより、第1四半期連結累計期間より「経営コンサルティング事業」、「ベンチャーキャピタル事業」の2つを報告セグメントとしております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

① 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
経営コンサルティング事業	4,337,144	+17.6	3,918,898	+13.2
その他	85,871	+75.5	42,675	+157.4

- (注) 1 経営コンサルティング事業については、会費収入、セミナー収入は継続収入であるため、コンサルタント収入についてのみ記載いたしました。
 2 その他については、システムコンサルタント収入についてのみ記載いたしました。
 3 金額は販売価格で表示しております。
 4 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同四半期比(%)
経営コンサルティング事業	4,168,153	+12.5
ベンチャーキャピタル事業	—	△100.0
その他	97,289	△0.2
合計	4,265,443	+8.0

- (注) 1 販売実績は、外部顧客に対する売上高を表示しております。
 2 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 総販売実績に対して10%以上に該当する相手先はありません。